

歯髄に対する初めての処置を行うにあたって必須の  
基本知識から臨床のポイントをわかりやすく解説!  
すべての臨床家に送るエンド臨床の決定版!

歯内療法 成功への道

# 抜髄

6月発刊!

## Initial Treatment

— 治癒に導くための歯髄への臨床アプローチ —

編著 **木ノ本喜史** (大阪府吹田市・医療法人豊永会きのもと歯科 / 大阪大学大学院歯学研究科臨床教授)

- Initial Treatmentにおける抜髄処置の成功率を100%とするために必要な、日々の臨床を理論づける知識や確実に効果的な手技などを、エンドのエキスパートが詳細に解説します。
- 感染根管治療 (Retreatment) を撲滅するために、はじめて歯髄そして根管にアクセスする責任を果たすための臨床アプローチを紹介します。

### 内容紹介

1. 歯髄保存の意義.....興地隆史
2. 象牙質・歯髄複合体の科学—発生, 解剖, 加齢変化および治癒機構.....大島勇人
3. 象牙質・歯髄複合体の痛みと神経原性炎症メカニズム—歯の痛みを理解するための臨床口腔生理学.....澁川義幸・田崎雅和
4. 歯髄の病理—治癒能力と治療に対する反応.....村松 敬
5. 歯髄の検査法.....五十嵐 勝・北島佳代子・新井恭子
6. 歯髄の診断.....五十嵐 勝・北島佳代子・新井恭子
7. 歯内療法における効果的な局所麻酔および非歯原性歯痛.....松浦信幸
8. 抜髄処置に対する薬剤による疼痛抑制.....長谷川誠実
9. 歯内療法における打診痛を考察する.....清水康平・羽鳥啓介・大原絹代・篠田雅路・小木曾文内
10. 抜髄と神経障害性疼痛—痛みを伴う難治性根管治療の理解のために.....木ノ本喜史・松浦信幸
11. 覆髄法—直接覆髄と間接覆髄.....泉 英之
12. 根管治療における感染制御—感染の機会と各種制御法.....木ノ本喜史
13. 歯内療法におけるう蝕除去の重要性.....阿部 修
14. 髄室開拓・根管口明示からCoronal-Radicular Accessへ.....加藤広之
15. 根管のネゴシエーション, 穿通, グライドパスの重要性.....澤田則宏
16. 治癒に導く作業長の設定を考える—作業長の「なぜ?」を問い学ぶ.....佐藤暢也・岩波洋一・佐藤勸哉
17. ステンレススチール製ファイルの特徴と根管形成—Return to basics.....木ノ本喜史 / 北村和夫
18. ニッケルチタン製ファイルの特徴と根管形成.....吉川剛正
19. 最適な根管洗浄法とは.....田中利典
20. 根管充填—側方加圧充填法と垂直加圧充填法.....北村和夫
21. 抜髄即充の是非を考える.....木ノ本喜史
22. 根管充填後の歯冠側からの漏洩(コロナルリーケージ)—失活歯を長期に機能させるために.....木ノ本喜史
23. Initial Treatment(特に抜髄処置)の成功率とそこから導かれる臨床のポイント.....石井 宏・清水花織

A4変判・400頁・オールカラー・定価(本体18,000円+税)

- ・歯周病による咬合崩壊を救うために!
- ・ライトフォース(弱い矯正力)による歯の移動,そして咬合再構成をめざす!

NEW CONCEPT

# バイオリジカルMTM

## ライトフォースによる"咬合リコンストラクション"

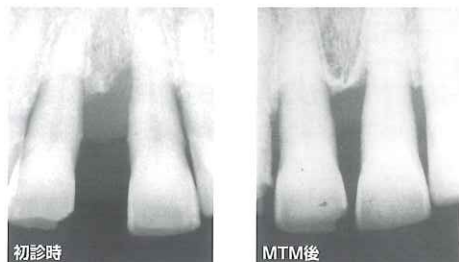
著 **池田雅彦** (札幌市中央区・池田歯科クリニック/元北海道大学歯学部臨床教授)  
**大出博司** (札幌市中央区・おおいで矯正歯科)

歯周病に罹患した歯の位置の変化は,①プラークコントロールが困難になる,②咬合性外傷を受けやすくなる,③歯列全体の咬合の不安定を引き起こす,④ブラキシズムを増悪させる,など種々の問題を引き起こします。

本書では,このような問題を解決するために,歯周組織を損傷しないように,移動させたいだけの量を移動させることができる"ライトフォース(弱い力)によるMTM"について解説し,併せて咬合異常のパターンごとに症例を提示しています。

### 「バイオリジカルMTM」とは

歯周病などで移動した歯を矯正するだけでなく,矯正することで生物学的に理にかなった生体の治癒を引き出し,より良い生体の治癒の条件を作るような矯正をさす(序文より)。



### 歯周病患者のMTMを行う際の注意点

1. MTMへのモチベーションを十分に行う。
2. 必要な歯を必要なだけ移動する。
  - ・固定源をしっかり設け,相反移動はできる限り避ける。
  - ・ライトフォースで行う。  
ライトフォース:30g以下  
移動:月に1mm以下
3. 炎症のコントロールを注意深く行う。
4. 治療が複雑になることが多いので,サポータティブペリオドンタルセラピー(SPT)が必要である。

### 【内容紹介】

#### ガイダンス

- 第1章 歯周病治療における矯正歯科治療の役割
- 第2章 歯周病患者における咬合異常のタイプ分類
- 第3章 咬合異常を伴う慢性歯周炎の治療の進め方
- 第4章 歯周炎とMTM治療導入へのモチベーション
- 第5章 床矯正装置について

#### 第6章 タイプ別咬合異常のMTM治療例

- タイプⅠ:フレアーアウト症例
- タイプⅡ:前歯挺出
- タイプⅢ:前歯離開
- タイプⅣ:下顎前歯叢生
- タイプⅤ:前歯反対咬合
- タイプⅥ:臼歯近心傾斜
- タイプⅦ:缺状咬合,交叉咬合

A4変判・オールカラー・並製